

『はたらく』にもっと、サステナブルを。
ワークスタイリングで「Sustainable Workstyle Lab」プロジェクトが始動
～業界や企業の枠を超えた「シェアオフィス×サステナビリティ」の取り組み～

本リリースのポイント

- 三井不動産の法人向けシェアオフィス「ワークスタイリング」で、個社内では得られない、サステナビリティについての「出会い」や「学び」を求める会員企業のハブとなるプロジェクトが始動。
- サステナビリティ推進の課題や取り組みについて、会員企業が集い共有・議論し、アイデアを見出す「コミュニティ」、世界最先端のサステナビリティの取り組みについて触れ、学ぶ「トークライブ」「体験展示」の3つの軸で企画を実施。

三井不動産株式会社(所在:東京都中央区、代表取締役社長:菰田正信)が展開している法人向けシェアオフィス「ワークスタイリング」は、「Sustainable Workstyle Lab」プロジェクトを12月2日(木)より開始しました。シェアオフィスという場を介し、業界や企業の枠を超えて、会員企業がサステナビリティについて学び、体験し、発信できる機会を創出することで、社会的に大きな課題となっているサステナビリティ推進について、ワークスタイリングがハブとなって会員や会員企業の取り組みに寄与することを目指します。



業界や企業の枠を超えて、サステナビリティについて学び、体験し、発信できる機会を創出

コミュニティ



会員がサステナビリティ推進の課題や取り組みを共有・議論し、アイデアを見出す場を創出。

トークライブ



サステナビリティ分野の第一線で活躍する有識者を招き「サステナブルな『はたらく』の未来を考える」をテーマに、毎月連続開催。

体験展示



世界最先端のサステナブルなプロダクトを、毎月設定するテーマに基づいて、各拠点に展開。

ワークスタイリングが、個社内では得られないサステナビリティについての「出会い」や「学び」を求める会員企業のハブに

◆「Sustainable Workstyle Lab」概要

コンセプト： “『はたらく』にもっと、サステナブルを。”

「Sustainable Workstyle Lab」では、「コミュニティ」「トークライブ」「体験展示」の3つの軸で企画を実施します。

1. コミュニティ

個社内では得られないサステナビリティについての「出会い」や「学び」を求める会員企業同士が、業界や企業の枠を超えてつながり、連携し、サステナビリティ推進に向けた課題解決やアイデア発想に取り組むワークスタイリング会員企業コミュニティ「Sustainable Workstyle Community」を立ち上げます。

| | |
|------|---|
| 活動内容 | <ul style="list-style-type: none">・メンバー各社のサステナビリティ推進に関する課題や事例の共有・メンバー間のディスカッション、アイデア発想に基づいたアクションプランの作成、実行・「Sustainable Workstyle Lab」企画のディスカッション (体験展示やトークライブの内容、ワークスタイリング運営のサステナビリティ・シフトについて)・サステナビリティについての情報共有全般 |
| 頻度 | <ul style="list-style-type: none">・月1回の定例ミーティング・テーマに応じた分科会の開催 |
| 期間 | 6ヶ月間を1タームとして活動 |
| 参加者 | ワークスタイリング会員企業の約10社(各社1名)からスタート |
| 参加費 | 無料 |

2. トークライブ

「サステナブルな『はたらく』の未来を考える」をテーマに、サステナビリティ分野の第一線で活躍する有識者をお招きして、トークライブを12月より毎月開催します。「持続可能なワークスペース」「世界の最前線の取り組み」「身の回りで一人としてできること」など、様々な角度からサステナビリティについて学び、考え、行動を起こすきっかけを提供します。

<第1回：オフィスのサステナビリティとゼロ・ウェイスト認証>

日本の「サステナブル・オフィス」の最先端を行く「富士見 森のオフィス」。会員や地域コミュニティを大事にしながら、どのようにサステナビリティ・シフトを実現したのか。ゼロ・ウェイストに向けて直面した課題をどのように乗り越えていったのか。企業や組織、ワークスペースにおけるサステナビリティ推進のヒントを学べる機会となります。

| | |
|-----|--|
| 日時 | 2021年12月2日(木) 19:00~20:30 |
| 定員 | 制限なし(ワークスタイリング会員のみ) |
| 会場 | オンライン |
| 登壇者 | 津田 賀央氏(富士見 森のオフィス) 松田 裕多氏(富士見 森のオフィス) |
| 参加費 | 無料 |

登壇者プロフィール

津田 賀央 氏(富士見 森のオフィス)



Route Design 合同会社代表／プロジェクトデザイナー／サービスデザイナー
Route Design 合同会社を立ち上げ、コワーキングスペース『富士見 森のオフィス』の立ち上げに関わる。『富士見 森のオフィス』を運営しながら、ワークスペース立ち上げのコンサルティングなど様々なプロジェクトに携わっている。

松田 裕多 氏(富士見 森のオフィス)



富士見 森のオフィス クリエイティブディレクター
2016 年から『富士見 森のオフィス』の初期メンバーとして、3 年間移住促進事業に従事。2021 年よりコワーキング・シェアオフィス向け「ゼロ・ウェイスト認証」および研修事業をスタート。

＜第 2 回以降の予定＞ ※各回のテーマ、日程、内容は予告なく変更になる可能性があります。

| |
|---|
| 第 2 回:「人も地球も幸せにするオランダのサーキュラーデザイン」 |
| サーキュラーエコノミーの最先端に行くオランダの事例から、日本でも実践できる内容をご紹介します。 ・日時:2021 年 12 月 20 日(月) 19:00～20:30 ・登壇者:安居 昭博 氏(Circular Partners & Initiative) |
| 第 3 回:「コンポストが生む幸せの循環と持続可能なコミュニティ」 |
| 家庭の生ごみを分解し、堆肥に変える「コンポスト」を日本で推進するたいら氏と、一個人としてどのようにサステナブルな取り組みができるかを考えます。 ・日時:2022 年 1 月 28 日(金) 19:00～20:30 ・登壇者:たいら 由以子 氏(ローカルフードサイクリング株式会社) |
| 第 4 回:「社会課題解決の“チェンジメーカー”を生み出す組織と体験のデザイン」 |
| 世界の社会問題・環境問題の現状、必要とされる変革、変革に必要な「人」や「組織」のメンタリティや方法論についてお話しいただきます。 ・日時:2022 年 2 月 24 日(木) 19:00～20:30 ・登壇者:濱川 知宏 氏(一般社団法人アース・カンパニー) |
| 第 5 回:「江戸時代の循環型社会“サーキュラーエコノミー”に学ぶ“働く”の未来」 |
| 実は、江戸時代に確立していた循環型社会(サーキュラーエコノミー)。具体的な取り組みや歴史的・文化的背景を紐解きながら、現代にも活かせるエッセンスをお聞きます。 ・日時:2022 年 3 月 24 日(木) 19:00～20:30 ・登壇者:北林 功 氏(DESIGN WEEK KYOTO) |

3. 体験展示

サステナビリティに配慮した最先端のプロダクトに触れることができる体験展示を、11月よりワークスタイリング拠点内※で実施しています。プロダクトは、「食」「ものづくり」「まちづくり」など、毎月設定するテーマに沿って選定します。日々の業務に取り組みながら様々な世界のアイデアを体験することができます。

※大型拠点(ワークスタイリング日本橋三井タワー等)で実施予定



体験展示例(ワークスタイリング日本橋三井タワー)

<体験展示 テーマ:「食」>

廃棄される野菜や穀物などを原料とした製品や、食品ロス削減につながる商品など、「食」にかかわるサステナブルなプロダクトをご紹介します。(以下、展示予定の一部)



C. TRIA

食品ロスを餌に、品質を損なわず育てたコオロギパウダーを使用した食品ブランド。
(株式会社グリラス)



お米のどうぶつつみき いろどり

精米する際に発生する碎米など、国産米を素材に取り入れたおもちゃ。
(株式会社ピープル)



おやさいクレヨン

廃棄される野菜の端材や皮から作られた野菜の色そのものを楽しめるクレヨン。
(mizuiro.inc)



WASARA

余剰資源である「竹」と「サトウキビ」の繊維を原料とし、埋めると90日で土に還る紙の器。
(株式会社 WASARA)

<体験展示 テーマ:「ものづくり」>

メーカーの生産・消費プロセスの中で出てしまう廃棄物やゴミを材料にして開発されたプロダクトをご紹介します。
(以下、展示予定の一部)



かっとばし!!

折れたバットをアップ
サイクル※して作った箸。
(株式会社兵左衛門)



Milk bottle stand

学校の牛乳瓶を花瓶に
アップサイクル※。子供
たちにももの大切さを伝
えるきっかけに。
(upcycle interior)

※アップサイクルは、廃棄物やゴミに、デザインやアイデアといった付加価値を持たせることで、別の新しい製品に生まれ変わらせる、サステナブルなものづくりの手法です。

<体験展示 テーマ:「まちづくり」>

建築物などのハード面と、人と人のつながりといったソフト面の双方から、街づくりの中で取り入れられた、サステナブルに配慮した事例をご紹介します。(以下、展示予定の一部)



コミュニケーション

コーヒースタンド

観光客がカップの色を
選ぶことでまちづくりに
投票し、地域に関わる
香川県の取り組み。
(宗一郎珈琲)



Nozomi プロジェクト

津波被災地の石巻で
陶磁器のカケラなどから
アクセサリーを製作、
販売。街と人の復興を
目指す。
(Nozomi Project Japan)

◆ワークスタイリング運営のサステナビリティ・シフト

ワークスタイリングでは、オフィス運営においても「レス・プラスチック」「レス・ウェイスト」「ウェルビーイング」を3本柱として、サステナビリティ・シフトを図ってまいります。ワークスタイリングの各拠点で、会員にご利用いただく備品等を環境に配慮したものへ順次入れ替えます。また、その備品等の環境に配慮されたポイントを発信することで、会員のみなさまにサステナビリティを意識していただくきっかけを創出します。



脱(レス)プラスチック

プラスチック製品の使用をできる限り削減します。



ゼロ(レス)・ウェイスト

備品などをリユース可能なものに変更し、拠点から出るごみを削減します。



ウェルビーイング

リラックス、集中できる空間を提供します。

■ワークスタイリングについて

ワークスタイリングは、三井不動産が展開する法人向けシェアオフィスです。資源を有効活用するシェアリングエコノミーの観点や、ビジネスパーソンに自由で多様なワークスタイルを実現するウェルビーイングの観点から、持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいりました。また、企業内では得られない「出会い」や「学び」の機会を創出し、ビジネスパーソンの成長をサポートする「ビジネススタイリングサービス」を提供し、会員同士のつながり促進にも取り組んでいます。

全国に広がる拠点を 10 分単位で利用可能な法人向け多拠点型サテライトオフィス「ワークスタイリング SHARE」、郊外エリアを中心とした法人向け個室特化型サテライトオフィス「ワークスタイリング SOLO」、多様化する企業のニーズや様々なビジネスシーンに合わせた法人向けフレキシブルサービスオフィス「ワークスタイリング FLEX」を展開しています。三井不動産グループが提供する国内全 39 か所の「ザ セレスティンホテルズ」「三井ガーデンホテルズ」「sequence」「東京ドームホテル」提携拠点と併せて、2021 年 12 月 2 日(木)時点で 143 拠点を展開し、800 社超、約 22 万人にご契約いただいています。



ワークスタイリング SHARE
(ワークスタイリング六本木一丁目)

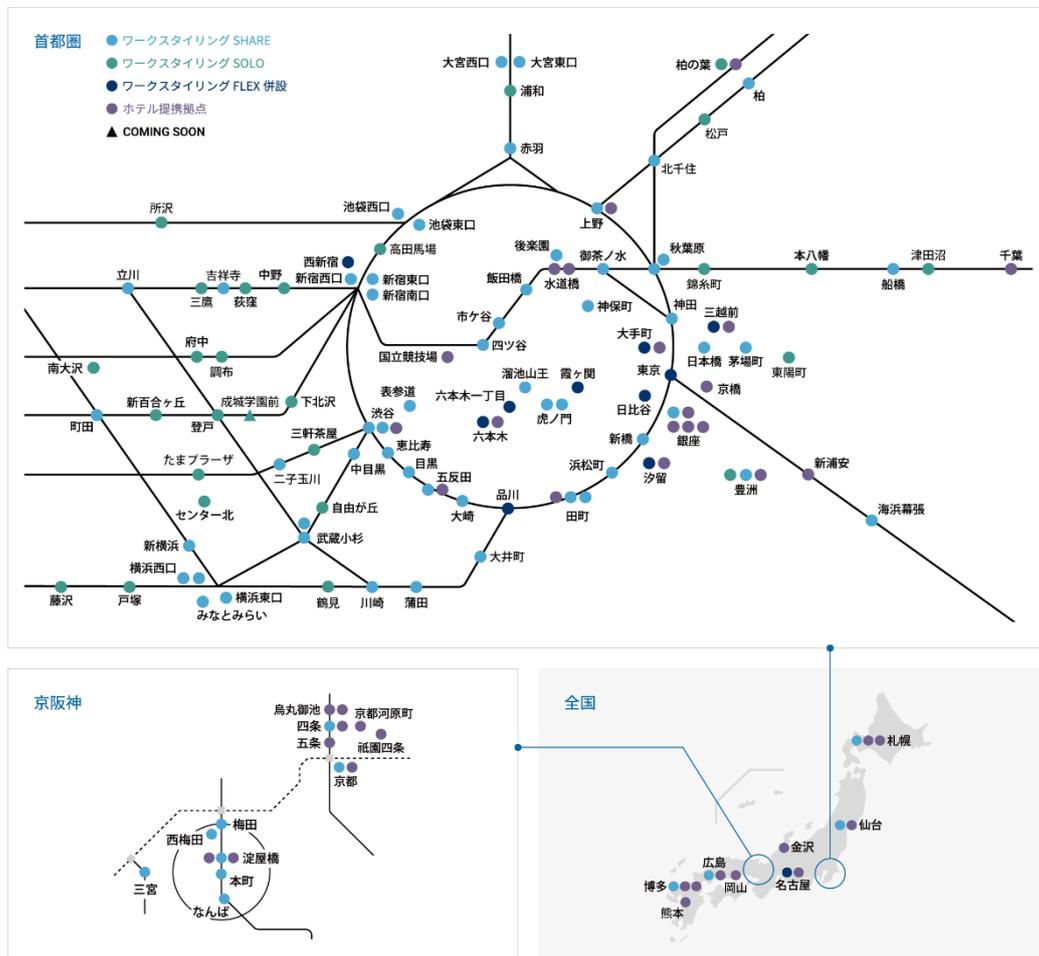


ワークスタイリング SOLO
(ワークスタイリング新百合ヶ丘)



ワークスタイリング FLEX
(ワークスタイリング東京ミッドタウン日比谷)

※ ワークスタイリング公式ホームページ: <https://mf.workstyling.jp/>



ワークスタイリング拠点ネットワーク

■三井不動産グループのSDGsへの貢献について

https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/esg_csr/

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、すなわちESG経営を推進しております。当社グループのESG経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。

*なお、本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における3つの目標に貢献しています。

目標 8 働きがいも経済成長も

目標 12 つくる責任 つかう責任

目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう



<画像ダウンロードサイト>

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/press/>

<ワークスタイリング 公式ホームページ>

<https://mf.workstyling.jp>